

<報告>

令和2年度今治市地域公共交通活性化事業実施概要

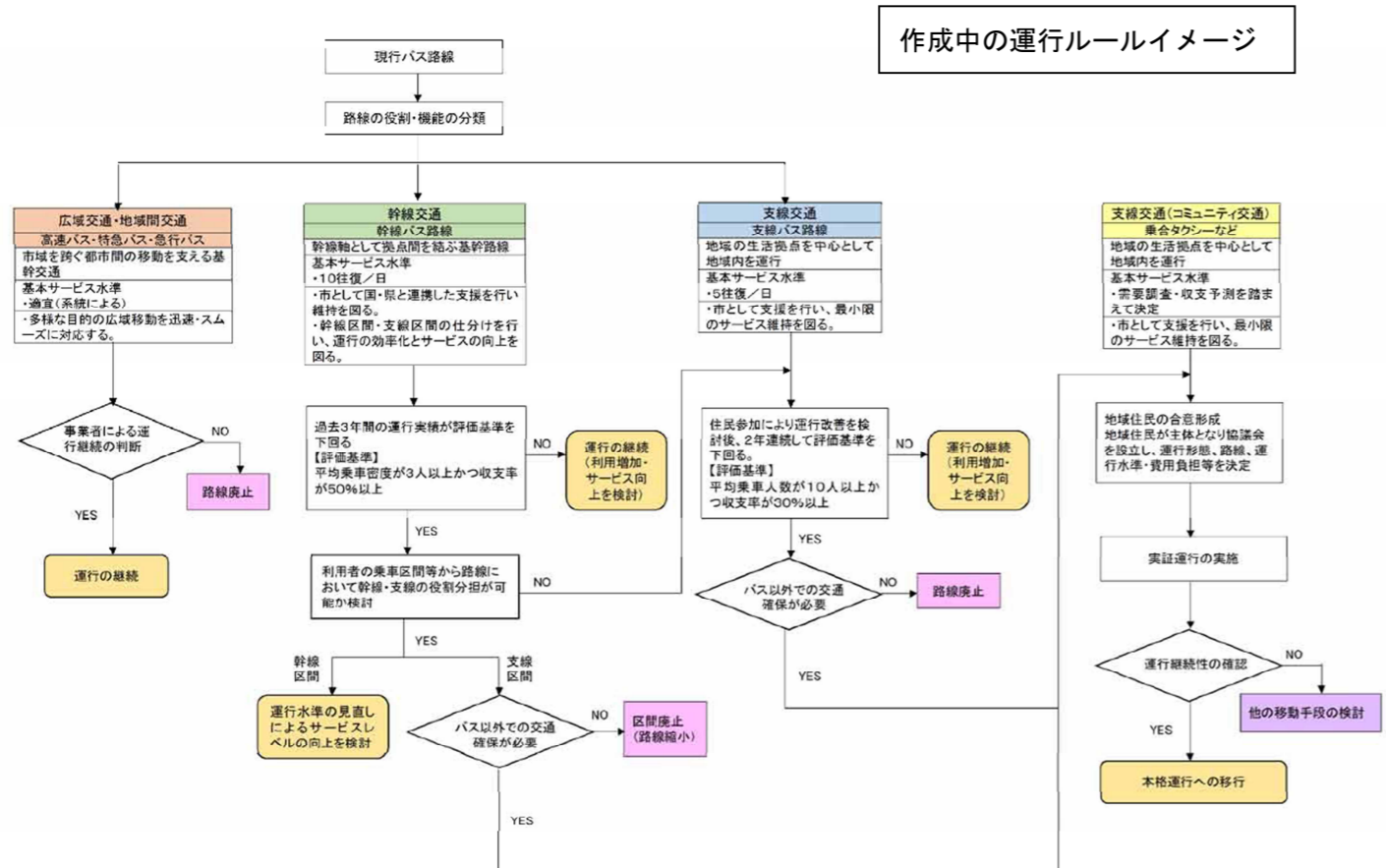
「今治市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域の実情や住民ニーズに応じた持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、地元住民を交えたワークショップの実施等、各種施策を実施した。

1 「<方針1>安全で快適な暮らしを支える公共交通」実現に向けた施策展開

(1) ワークショップの実施


地区	第1回 内容：移動実態・ニーズの把握	第2回 内容：見直しの方向性について
朝倉	実施日：10月14日（水） ・山側の路線は小型車両でカバーしてはどうか。 ・足が悪い人でも移動ができるように、家の前から目的地まで運行してくれるサービスが必要。 ・病院やスーパーを経由する便があってもよいのではないかと。毎日だけでなく、予約があるときだけ運行するのもよい。	実施日：12月3日（木） ・少ない便数であっても、済生会病院まで行くことができる運行の形が良い。 ・デマンド導入だけでなく、公共交通ネットワーク全体で利用しやすい形を構築すべき。 ・福祉分野との連携や、地域資源の活用等の工夫・対応が必要。
吉海	実施日：10月6日（火） ・小型化して、より細かいルートを実行する等、効率化を図るべき。 ・利用が少ない区間は見直しが必要。拠点を設定し、そこまでの足を確保することが必要。 ・家の前から目的地まで運行してくれるサービスが必要ではないか。	実施日：12月2日（水） ・減便は現状の改善につながらないため、デマンド運行に転換する方がよい。 ・下田水港まで運行しない等、ニーズに応じた形で効率化を図るべき。 ・地域でできる工夫として、地域での声掛けや地域との連携等が挙げられた。

(2) 運行ルール案（今後の地域での検討に向け調整中）



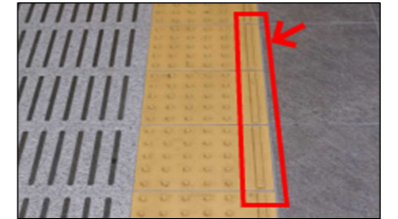
2 「<方針2>まちづくりと連携する持続可能な公共交通」実現に向けた施策

(1) 公共交通マップの作成、瀬戸内海交通ホームページ開設

公共交通マップ※別添参照	瀬戸内海交通ホームページ
令和3年2月作成 部数10,000部 交通事業者、関係団体、公民館、市担当窓口等へ配布	令和3年2月開設  http://www.setonaikai-kotsu.co.jp/

(2) 今治駅バリア解消事業（ホームの点字ブロック改修）

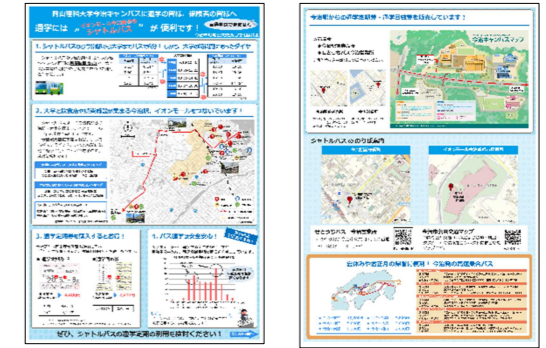
転落防止のため、今治駅ホーム上の視覚障がい者誘導用点字ブロックを内方線付点字ブロックに改修。工期は令和2年6月15日から令和3年3月15日。



内方線付点字ブロック

(3) 岡山理科大学生に対するモビリティ・マネジメントの実施

在学生及び令和3年度入学生向けにチラシを作成、配布した。



3 「<方針3>みんなで公共交通を守り、育てる」実現に向けた施策

(1) バス乗り方教室、エコ通勤事業者の拡大

バス乗り方教室	エコ通勤事業者の拡大
令和2年11月4日、乃万小学校1年生118名を対象に実施。 整理券の取り方や料金の支払い方法等バスの乗り方を体験的に学習するほか、車いす用スロープ板乗降体験等を実施した。	公共交通マップ作成後、市内4事業者に対しマップ配布の上、実施を依頼。 うち2事業者はエコ通勤事業者登録実施予定。

(2) 県と連携した担い手確保に向けたマッチング事業

「愛媛の運輸魅力発見バスツアー」
 東予地区 令和2年10月24日実施
 バス（瀬戸内運輸株）・旅客船・トラック業界の見学及び説明会

